

松野町まちづくり委員会産業振興部会 会議録

日時：令和2年1月22日（水）10時00分～12時05分

場所：松野町コミュニティセンター 2階会議室

【委員（出席者）】

| 氏名 | 出欠 | 氏名 | 出欠 | 氏名 | 出欠 |
|-------|----|-------|----|-------|----|
| 山口 武美 | 出 | 須田 正文 | 出 | 井上 重人 | 出 |
| 毛利 達晴 | 欠 | 加藤 勝恵 | 出 | 岡 正司 | 出 |

～ 次 第 ～

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 第5次松野町総合計画後期基本計画について

(2) その他

4 閉 会

松野町まちづくり委員会産業振興部会の開催結果について

日時：令和2年1月23日（水）10:00～12:05

場所：松野町コミュニティセンター 2階会議室

出席委員：山口委員、須田委員、加藤委員、井上(重)委員、岡委員

出席職員：友岡課長、白瀧課長補佐（ふるさと創生課）

内容：概ね次のとおり。

1. 開会あいさつ（友岡課長）

2. 協議事項

(1) 第5次松野町総合計画後期基本計画について

ふるさと創生課が資料に基づき説明を行ったところ、概ね次の意見等が述べられた。

（基本目標）3【産業・交流】稼ぐ基盤を創りだす産業おこし

| 発言者 | 内容 |
|-----|--|
| 委員 | ①農業の「目指す姿」において、「農林公社と総合営農指導拠点施設を中核に～有害鳥獣対策等に取り組みます。」と記載されているが、有害鳥獣対策は森の息吹を中心に行っているもので、表現が誤解を招くおそれがあるので、文章を見直してほしい。 |
| 事務局 | 誤解を与えないように文章を修正する。 |
| 委員 | ①農業の差別化を図るため、例えば全戸有機農法を行うなどの思い切った取組ができないか。 |
| 委員 | 有機農法を町内全域で導入することは非常に難しいのではないか。一部の地区だけならできる可能性はあるかもしれない。 |
| 委員 | 有機農法の表示を行うには、土壌改良や農薬の制限があり、かつ隣接の畑で農薬が散布されれば有機農法の認定が受けられないなど、ハードルが非常に高い。なお、条件が厳しい有機農法で作られた野菜でも労力に見合った値がつけられる訳ではない。 また、穴が空いた野菜より綺麗な野菜を購入する消費者のほうが多いのが実情である。 |
| 委員 | ①農業の「施策の方向性」に「主要農産物～既存作目の高付加価値型6次産業を推進しブランドづくりに取り組みます。」とあるが、6次化以外でも、例えば1次産品でもブランドは作れるので、6次産業を推進しないとブランド化できないような表記ではなく、ブランド化を推進するような記載方法を検討しても良いのではないか。 |
| 事務局 | ブランド化の記載方法を検討する。 |
| 委員 | ②林業の施策の方向性にまきを活用する施策を追加してほしい。 |
| 事務局 | ②林業の施策の方向性には、「公共施設や民間大規模施設への薪ボイラー |

| | |
|-----|--|
| | の導入を推進するとともに、森の国まきステーションと連携し木質バイオマスの活用に努めます。」との表現を入れているので、理解してほしい。 |
| 委員 | ③商工業の施策の方向性に「JR 駅周辺における拠点機能を充実し～」とあるが、ふれあい交流館があることも知らない人も多い中で、拠点機能を充実と記載されているが本当かという疑念を抱いてしまう。 |
| 委員 | ④雇用の創出の現状と課題に、「町内の事業所はほとんどが零細であり、～」とあるが、キョクヨーなどは零細ではないのではないのか。 |
| 事務局 | 町内事業所が全て零細ではないが、零細事業者が多い状況にある。このため、表現を「零細事業者が多い」に改めるよう検討する。 |
| 委員 | 3-2 観光交流①観光交流産業の施策の方向性に「指定管理者」とあるが、農業の項目では、指定管理者ではなく、農林公社など名称が使われているが、まちづくり松野と表記しない理由はあるのか。 |
| 事務局 | 観光施設の指定管理者は一つではないため、全部の名称を記載すると文章が長くなるため、指定管理者で統一しているので、理解してほしい。 |
| 委員 | ③まつの応援ネットワークの現状と課題に、「ふるさと納税の実績が徐々に上がってきています。」とあるが、具体的には？ |
| 事務局 | 平成30年7月豪雨災害への支援として、募金活動を行っていただき、義援金へいただいたほか、災害支援のふるさと納税では、多くの方から支援を受けたところである。 |

(基本目標) 6 【定住促進】とともに暮らす森の国の里づくり

| | |
|-----|--|
| 委員 | ②地域おこし協力隊との連携について、虹の森公園の事業に協力隊員を組み込めないか。 |
| 事務局 | 観光での協力隊への応募については、町と協働して行う体制としている。虹の森の事業で協力隊を募集し、応募があればできなくはないが、現状ではそのような募集方法は行っていない。 |

【その他】

(基本目標) 1 【環境・防災】緑豊かで快適なまちづくり

| | |
|-----|---|
| 委員 | 1-1 自然環境・生活環境の②道路・橋梁の現状と課題に平成30年7月豪雨で被害が生じたので、そのことも明記してはどうか。 また、施策の方向性で道路のパトロールを徹底しとあるが、具体的にあげてはどうか。 |
| 事務局 | 検討する。 |
| 委員 | 1-2 循環型社会②エネルギー対策の現状と課題で太陽光に特化して記載しているが、固定価格買取制度で個人の買取契約が終了している中で、 |

| | |
|-----|---|
| | この表記に違和感を覚えた。特に修正してほしいとの意見ではないが。 |
| 事務局 | 国が公表している再生可能エネルギーの発電割合では、水力、風力、木質バイオマスよりも太陽光の発電割合が高い状況であるため、現在の社会状況を記載しているため、御理解いただきたい。 |
| 委員 | 1－3上水道と生活排水の②生活排水で、農業用水路には生活排水も流していると思うが、水路の管理を農家だけにまかせるのには違和感がある。 |
| 委員 | 地域によっては、水利組合が廃れてきており、水利権の確認も難しい状況になっている。 |
| 事務局 | 町としても、状況は把握している。どのように解決していくのがよいのかみんなで智慧を出し合っていかなければならないと考えている。 |
| 委員 | 富岡地区の河川の水質データを見ていると町内の他地区より大腸菌が高い。水質調査の場所を下流域から少し上流域へ変更ができないかと思う。 |
| 事務局 | 河川の水は礁崎で採取していると思うが、採取箇所を変えると比較ができなくなるので、変更は困難と思われる。また、採取箇所を増やすことも予算上、困難と考えている。 |